

最新農機具ずらり ～農機展示会開催～

秋の収穫期を前に能代農機センター前で8月21日、農機展示会が開催されました。展示会は組合員の総合的な営農支援や低コスト農機の利用促進、アフターフォローを目的に開催。16社の農機具メーカーが共同コンパインやトラクター、草刈り機、管理機など最新の高性能機から小型機まで幅広い農機具を100点以上出展。会場では、職員やメーカー担当者が農業機械の特徴や性能、操作等を説明。担当者は「引き続き利用者のニーズに合わせた機械を提案していきたい」と話しておりました。



多くの来場者でにぎわった展示会



ガンバロー三唱をする生産者



農業政策確立に向け要請

～食料・農業・地域政策確立 秋田県生産者大会～



挨拶をする県青協委員長の伊藤達也さん

JA秋田中央会と秋田県農政対策本部は9月4日、食料・農業・地域政策の確立に向けた、秋田県生産者大会を秋田市で開催しました。秋田県副知事や県選出国会議員、JAの役員ら約500名が参加。当JAからも20名が参加し、「日本の食は我が手で作る」とする自負をもって、日々の農業へ邁進することを誓うとともに、国民に欠くことのできない食料のすべてを生産できる農業に一步でも近づける政策の実現に取組む」とした大会申し合わせを採択しました。大会では情勢報告や地域政策確立に向けた要請を行ったほか、農業の後押しを一層すすめてもらうよう、ガンバロー三唱で参加者は意思統一を図りました。



地場産野菜を受取り喜ぶ来店者

年金感謝デー ～ニツ井支店・地元野菜プレゼント～

年金支給日に来店された顧客に対し、地場産季節野菜を進呈する年金感謝デーが8月15日、ニツ井支店で行われました。感謝デーは年2回実施しており、産直「大地の友」から仕入れた夏野菜（トマト・なす・かぼちゃ・とうもろこし等）を来店客先着50名様にプレゼントしました。支店職員は来店者に日頃の感謝を伝え、笑顔で手渡しながら、地場産野菜を紹介。来店者の声を聞きながら顧客満足度の向上を図るため、交流を深めました。次回は2月に予定しております。

JAみどりの広場

～「白神りんどう」と女性部料理を紹介～



白神まいたけを使った料理を披露した小山さん



白神りんどうを紹介する桂田さん



完成したまいたけのフルコース

JAグループ秋田が企画提供している秋田テレビ「みどりの広場」で、「白神りんどう」が紹介され、8月17日放送され好評を得ました。番組収録は8月6日に藤里町で行われ、県内の生産者や旬の農産物を紹介する「がんばってます！」に生産農家として桂田浩樹さんが出演。後半の料理の紹介には女性部藤里支部長の小山いく子さんが出演し、「白神まいたけ」を使った料理3品を披露しました。MCには秋田県住みます芸人の、きり亭たん方さんが務め、「白神りんどう」の魅力を伝えました。

大豆管理要点確認 ～現地圃場巡回・講習会～

大豆部会は8月19日、大豆部会現地圃場巡回並びに講習会を開催し、現在の生育状況について学びました。講習会には生産者ら20名が参加。今年は大きな被害は少ないものの、難防除雑草が県内全域で確認されていることもあり、難防除雑草に対する防除対策や、病害虫対策の徹底を呼び掛け、収量・品質向上に取組むことを確認しました。また、現地圃場巡回では、大豆の生育状況を確認しながら、効果的な除草対策について意見交換が行われました。



大豆の生育状況を確認する生産者



厳格に規格を確認する部会員

「白神ねぎ」品質の底上げを ～抜き打ち検査～

ねぎ部会では夏ねぎの出荷が最盛期を迎えた能代営農センター内で、その日出荷した白神ねぎが詰められた箱を開封し、抜き打ちで出荷品質検査を実施しています。今年度は販売額21億円達成に向け、品質検査体制の見直しを行い、B品規格の重点的検査の実施により品質の底上げを図っております。部会役員・部会員を中心に規格表を基に、白根の長さや葉の状態、軟腐病の混入など厳格に検査が行われ、白神ねぎのブランド確立に向け取り組みを継続しております。